

土曜子ども教室

3月のポイント!



能面・能装束



重要文化財「遊楽図屏風(相応寺屏風)」(部分)



能ってなに?

能はおよそ650年前の室町時代に、観阿弥、世阿弥という天才親子が芸術的に完成させた演劇です。

能は、能面をつけて舞う「舞」、力強い声楽「謡」と、笛、小鼓、大鼓、太鼓による楽器の演奏「囃子」が一体となった、世界で最も簡略化された舞台演劇です。

江戸時代には、能は幕府の式楽（儀式の時に行われる音楽や演劇）とされました。ストーリーには、神様が主人公となる能、源平合戦の武将の苦しみを描いた能、美しく静かな舞を舞う女性の能、鬼・妖精や獅子など想像上の生き物が出てくる能などさまざまです。



のうめん 能面

能に用いる仮面を能面、あるいは面といいます。
シテ方という主役を演じる役者が面を用います。
この世にはいない、神、霊、精霊などの役柄の面や、
さまざまな年齢の女性の面など数多くあります。能面
の主な素材は檜で、約100種類あります。面も能装
束（能の衣装）も「つける」といいます。

喜怒哀楽。どんな表情かな？



NO.1

わかおとこ
若男

わか かん せい
若さを感じる青
ねん ちて わか だん
年の面。若い男
せい れい やく もち
性の霊の役に用
いる。



NO.2

こ おもて
小面

じょせい ちて なか
女性の面の中
でも一番若く、
きよ たらか うち
清らかで美し
い面。



ちやうれいべし み
長霊癡見

ゆうめい どうぞく
有名な盗賊・
くまさからうはんやく
熊坂長範役
せんよう ちて
の専用の面。



いっかくせんじん
一角仙人

あたま いっほん つの
頭に一本の角
もち せんじん
を持つ仙人の
せんよう ちて
専用の面。



のうしょうぞく のう いしょう 能装束 (能の衣装)

能装束はほとんどが絹で、演じる役柄によって約20種類
に分類されます。装束の組み合わせ方や着け方を工夫して、
登場人物の年齢や身分・役柄などを表します。



NO.16 べに あさぎ だんいり こびし ほたんちゅうもんからおり
紅・浅葱段入り子菱に牡丹蝶文唐織



からおり
唐織

のうしょうぞく だいひょう からおり
能装束を代表する「唐織」は、
さまざまな色の絹糸で織り
あ げられ、とても豪華です。
おもに女性の役に用います。



はっぴ
法被

NO.9

ちゃせじつるびし きりもんきんらんがせはっぴ
茶地鶴菱・桐文金欄袷法被

おとこやく もち そで ひろ うわぎ あわせ ひたえ にしゅ
男役に用いる袖の広い表着。袷と単の二種
類あり、裏地のついた袷は鬼・神・武士な
どの威厳ある強い役に用います。



ふえ
笛

のうかん よ
能管と呼ばれる。
素材は竹。



こづち
小鼓

うま かわ は
馬の皮を張った
おてかわ うらがわ どう
表皮と裏皮で胴をはさみ、
あき しらべ し
麻の調緒で締める。



おおづち
大鼓

こづち おな ざいしつ
小鼓と同じ材質で、
こづち おお
小鼓よりやや大きく、
どう ちゅうしん すじ
胴の中央に筋がある。



たいこ
太鼓

かわ うし かわ ほん ばち
革は牛の皮、2本の撥を
ふ お
振り下ろしてならす。
あか ちからづよ ねいろ
明るく力強い音色。

